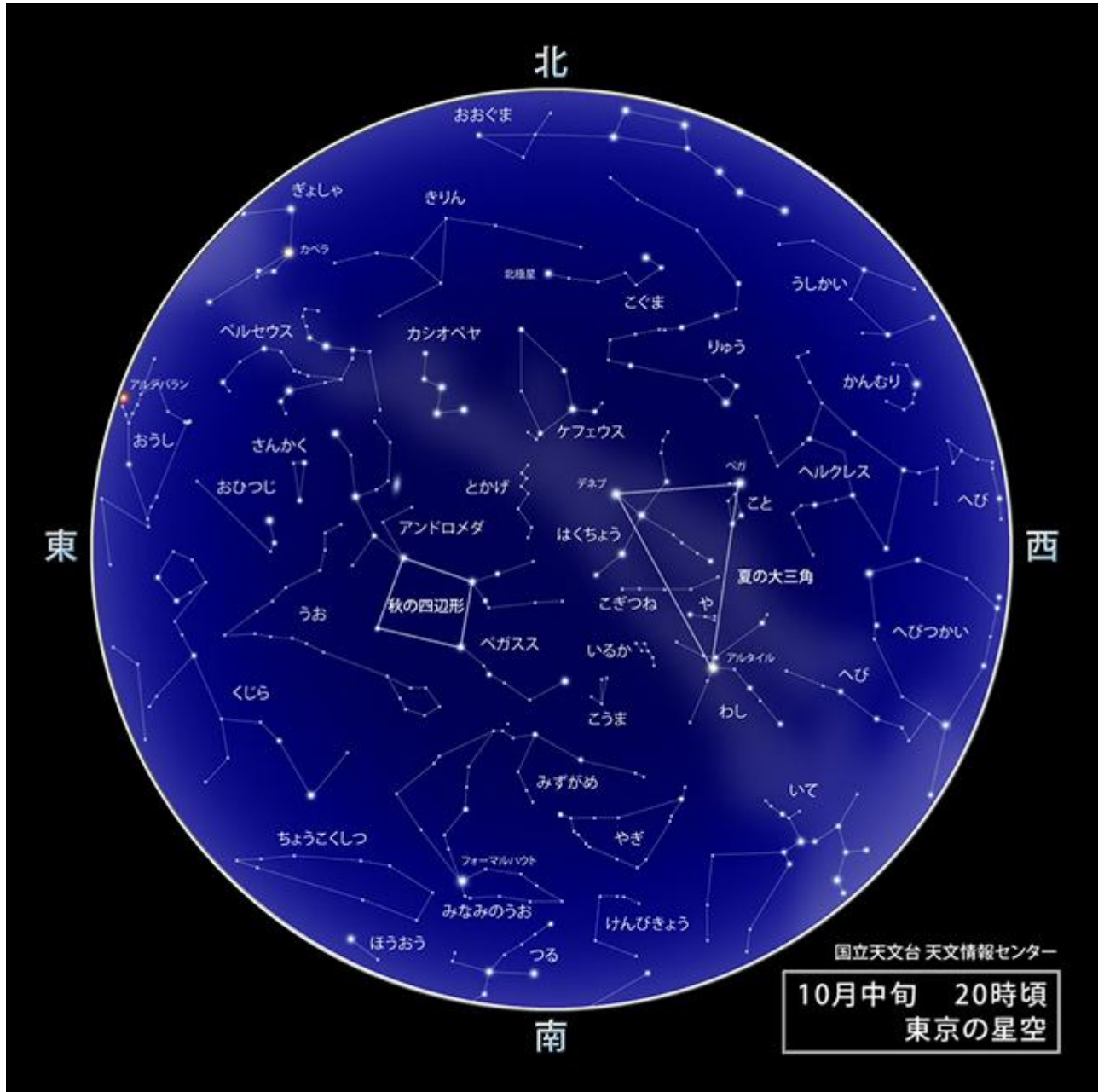


10月の声を聞き空を見上げると、なんと空の高い事か！

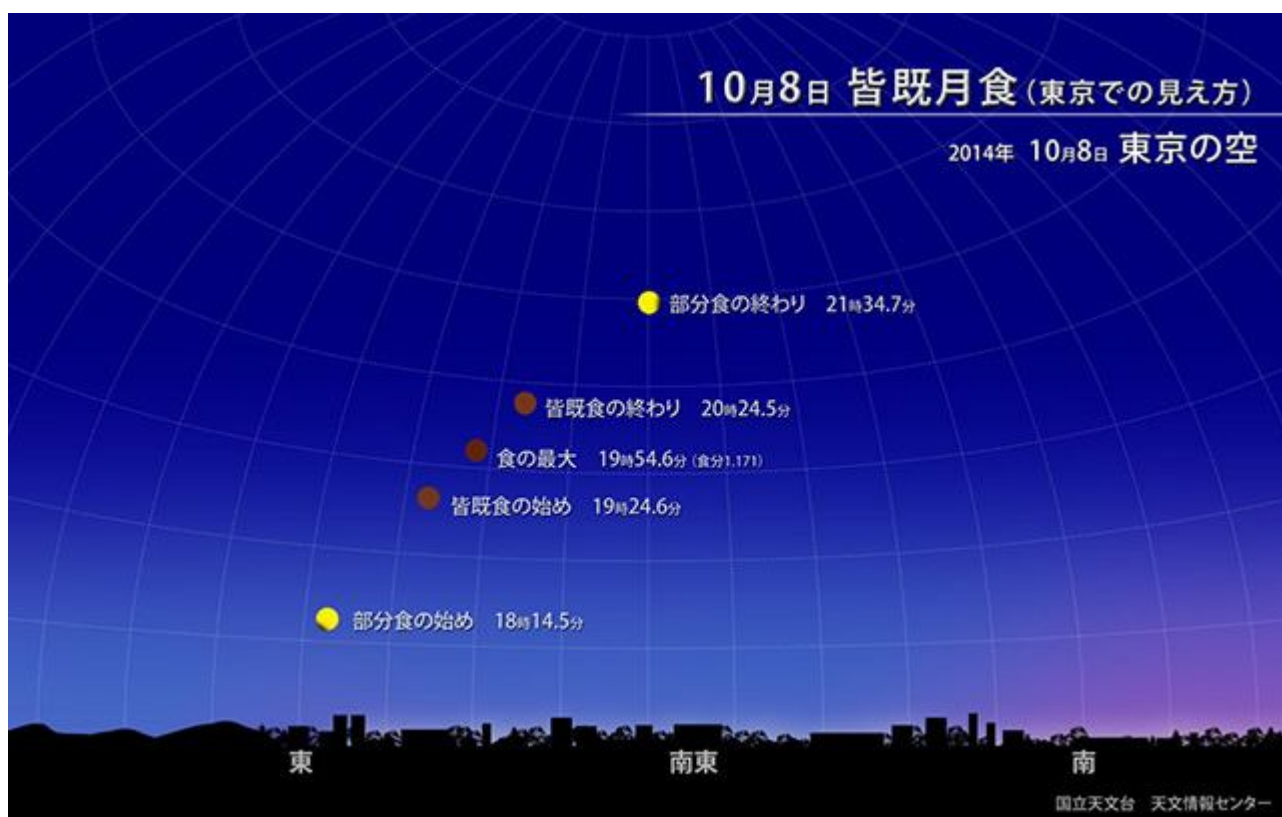
耳を澄ませば虫の声が聞こえており朝夕の肌寒さに気づかされる此の頃です。

空の高い事と空が澄んでいることが同じかは分かりませんが、これからの時期は夜空に輝く星々が非常に澄んで見え小粒の宝石が散らばっている様に見えてきます、ただし夏の星座、冬の星座達と違い明るい星が少なく何となく物悲しい雰囲気を漂わせております。

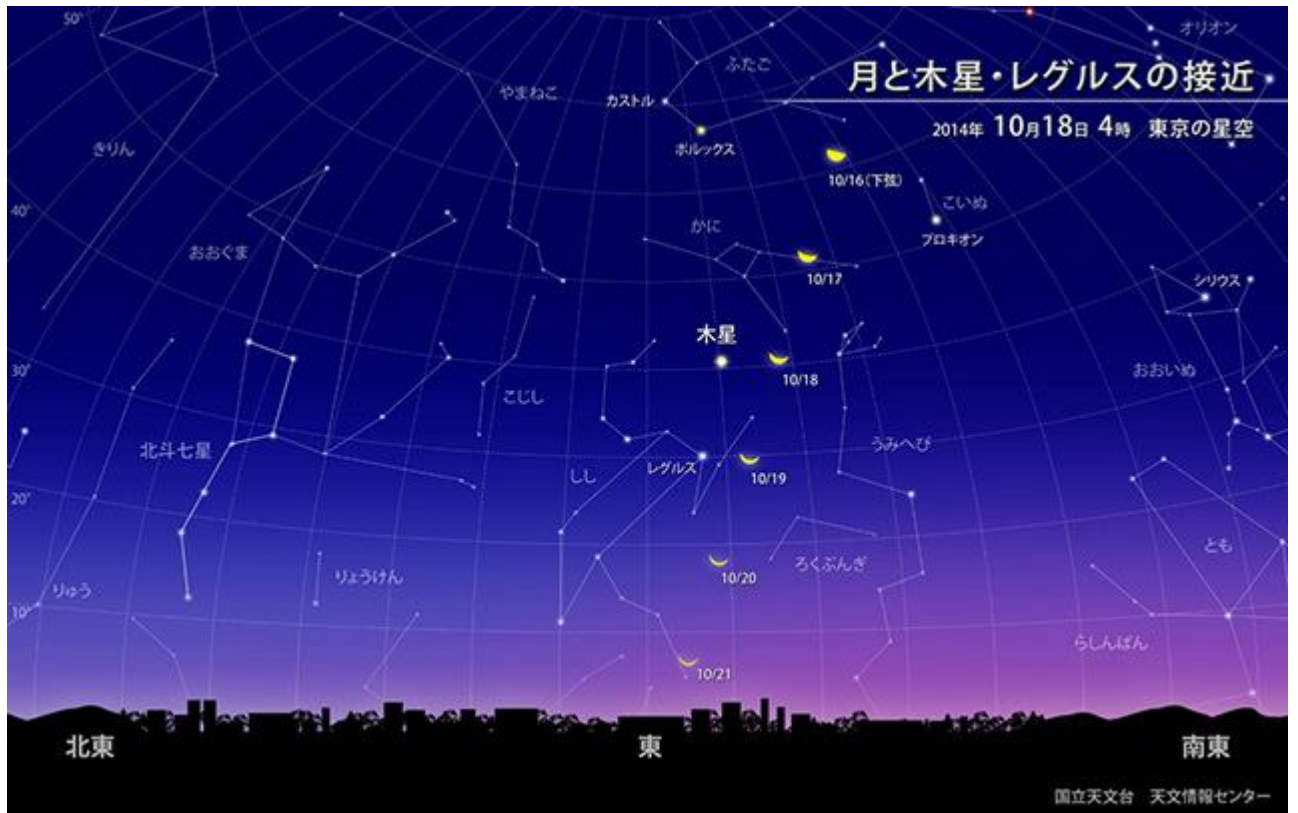


今月の見所としてはまず8日の皆既月食、非常に条件は良く夕方の18時15分頃から始まり(月の欠け始め)、19時25分には皆既食の始まり(地球の影が月を全て隠し始める)、20時25分には皆既食の終わり(端から明るく成って来る)と言う様に夕方の東の空に昇り始めた頃からかけ始めます、皆既食の最中には赤銅色の暗い月が見られ普段には観ら

れない異様な月を観察してみてください。



また18日の前後3日間位は明け方の東の空に月と木星としし座のレグルス星が非常に接近した景観を見せてくれるので興味の有る人は早起きして観てはどうでしょう。



そして21日にはオリオン座の流星群が極大になり条件良く観測出来ます（この前後数日も可）、この流星群はあの有名なハレー彗星が母体となっている流星群との事です、一時間あたりに40個程の流れ星が見られるみたいですが最近では60～100個程見えたとの報告も有ります（暗い所で見ればの話）、夜22時頃からは見やすくなり月明かりも無いので時間の許す限り楽しんでみてください。



先日 JAXA より 11月30日にははやぶさ2が打ち上げられると言うニュースが入って来ましたこれは小惑星探査機としてC型小惑星「1999 JU3」を目指しその小惑星のサンプルを回収して地球に持ち帰る事を使命にしていますが、順調に行けば東京オリンピックの年に帰って来る様です、地球の生命の起源にかかわる様な発見が有ればいいですね。

PS： 今火星にはインド、アメリカ、欧州宇宙機関等の国又は機関から史上最多の7機の探査機が行っている様でいよいよ本格的に人類が火星に降り立つ下準備に入ってきているのかもしれませんが、早く日本もその中に参加出来るようになれば良いですね。

(20年後に月と火星に日本人が降り立っている夢を想像して見ましょう、夢を見れば現実が近づいて来るものです。)